

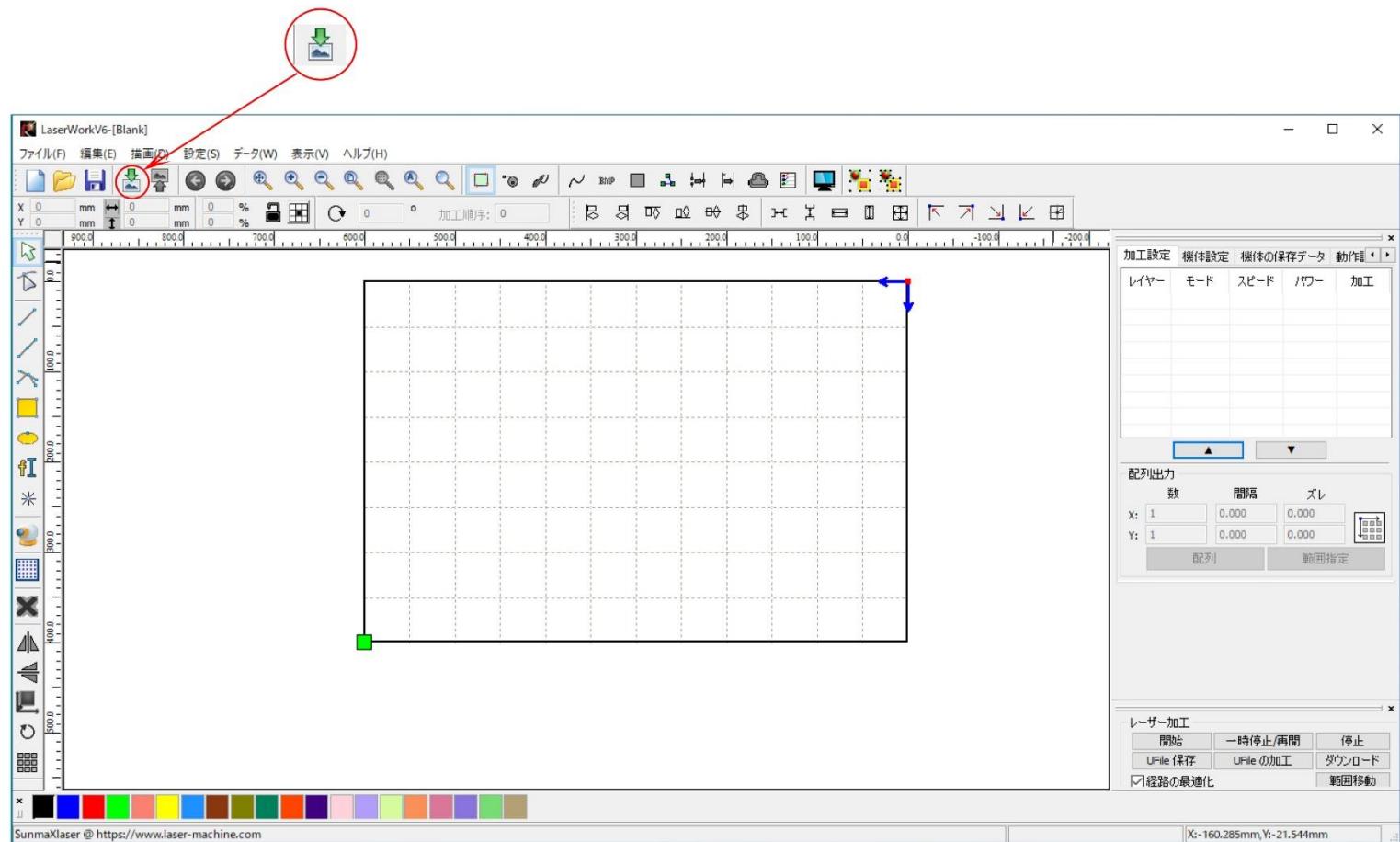
カラー画像データの彫刻方法

SUNMAX シリーズを使用して、カラー画像データを彫刻する方法を説明します。

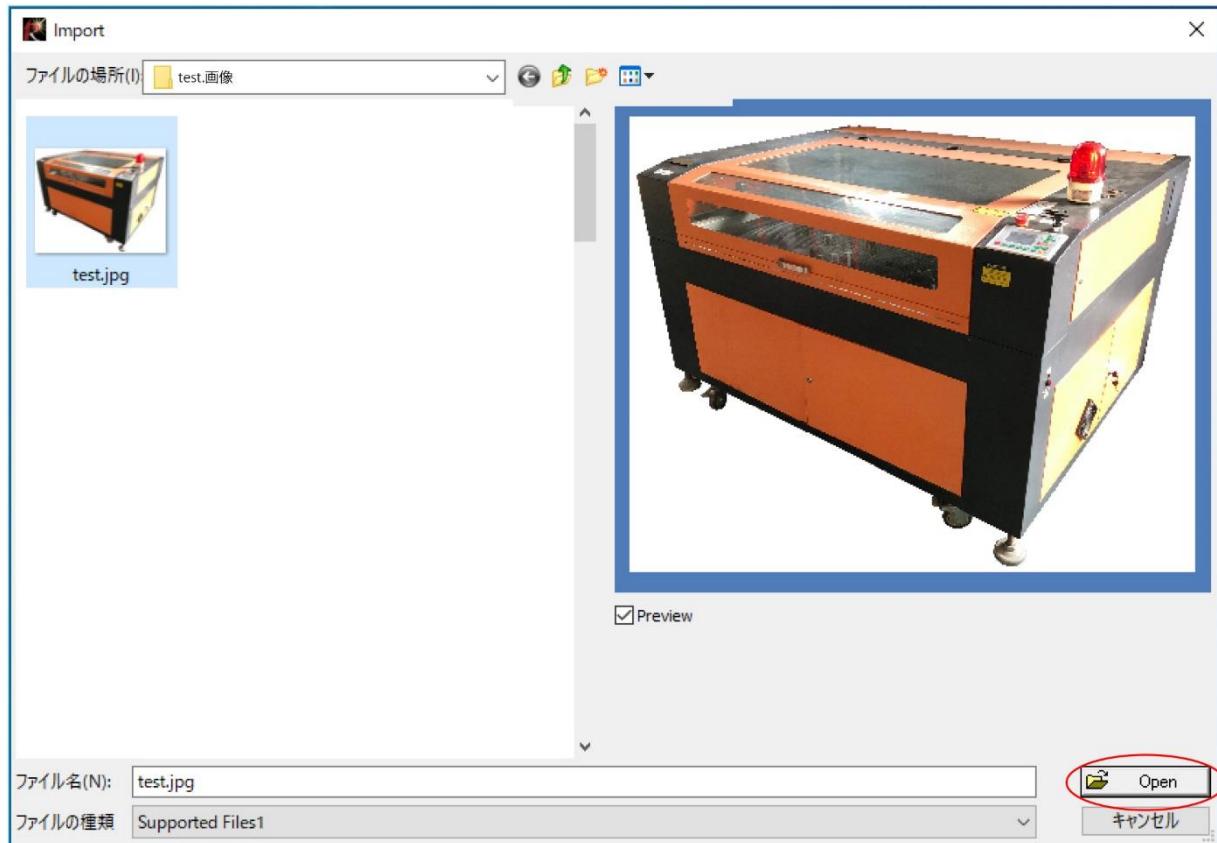
本資料では LaserWorkV6 を使います。類似機能を持った他のソフトウェアでも可能です。

※ 彫刻設定において、素材、要求加工品質、データ内容、レーザー加工機機種によって、試行により適切な設定値を求める必要があります。

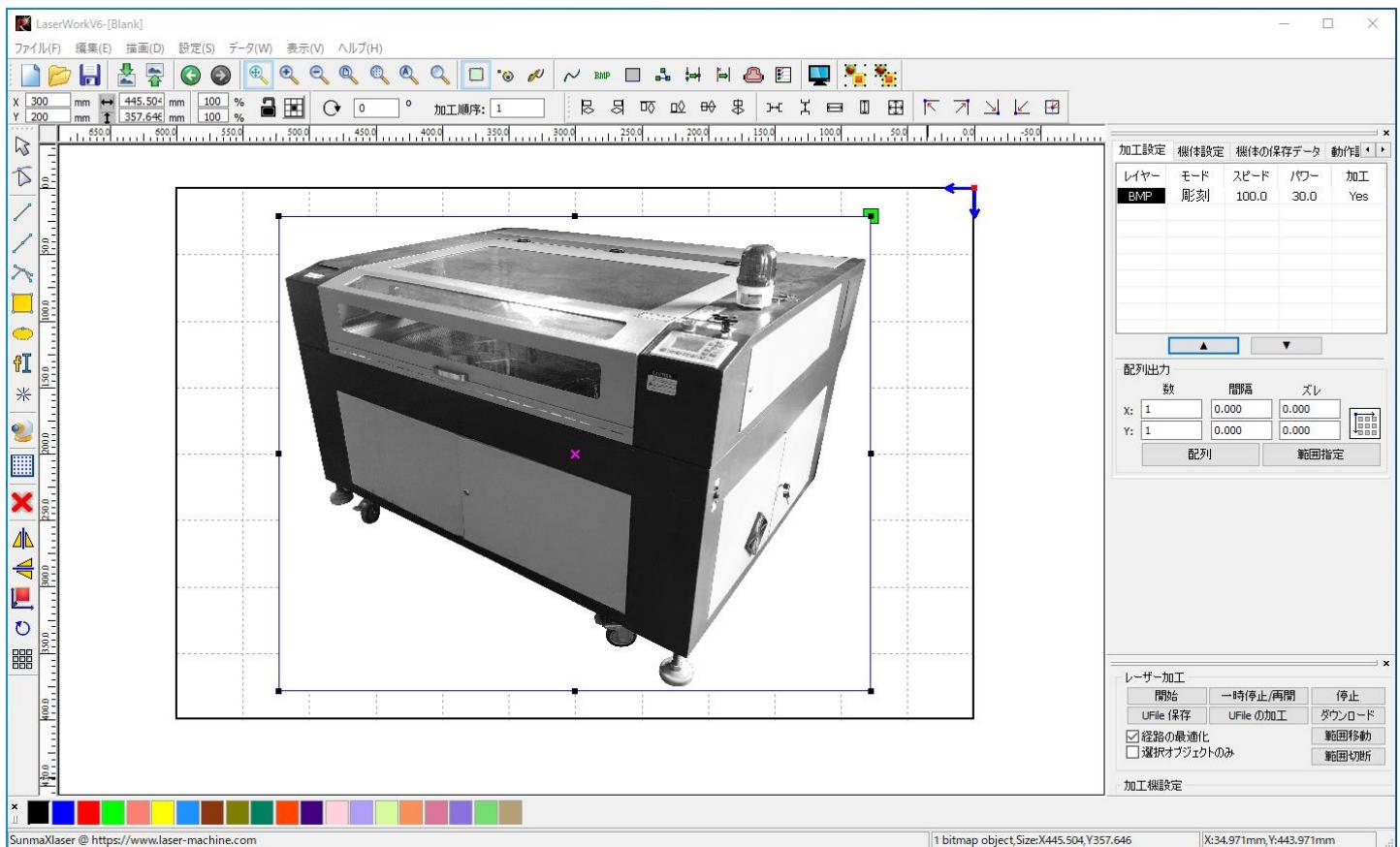
① LaserWorkV6 を起動して、システムツールバーの「インポート」をクリックします。



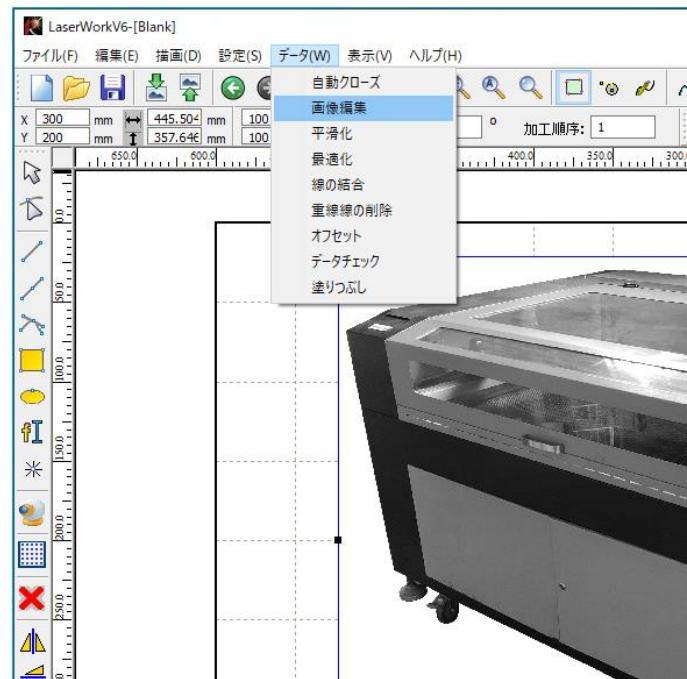
ファイルを開くダイアログが表示されるので、画像データを選択して、Open をクリックします。



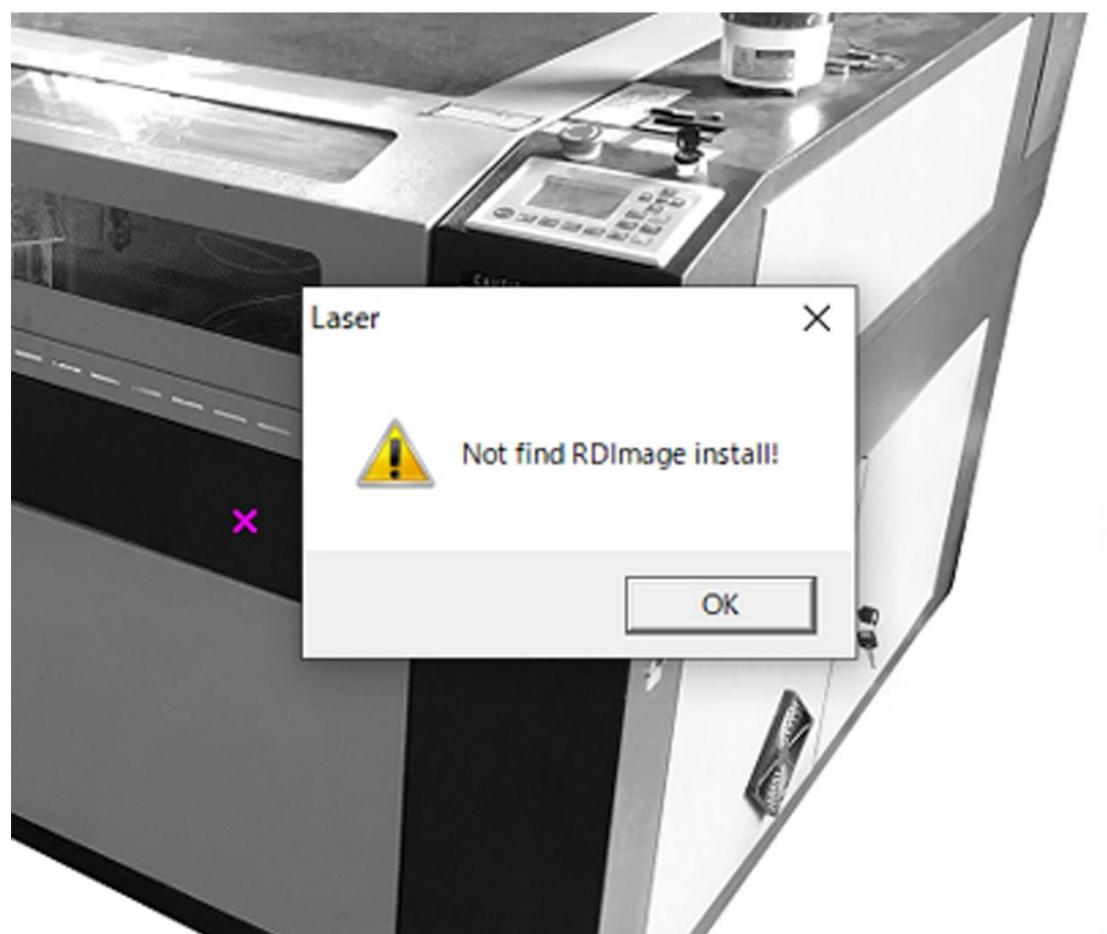
LaserWorkV6 画像ファイルを開きます。画像データは LaserWorkV6 にインポートされた時点でグレースケール化されています。



② インポートした画像を選択し、メニューバーの「データ」を開いて、「画像編集」をクリックします。

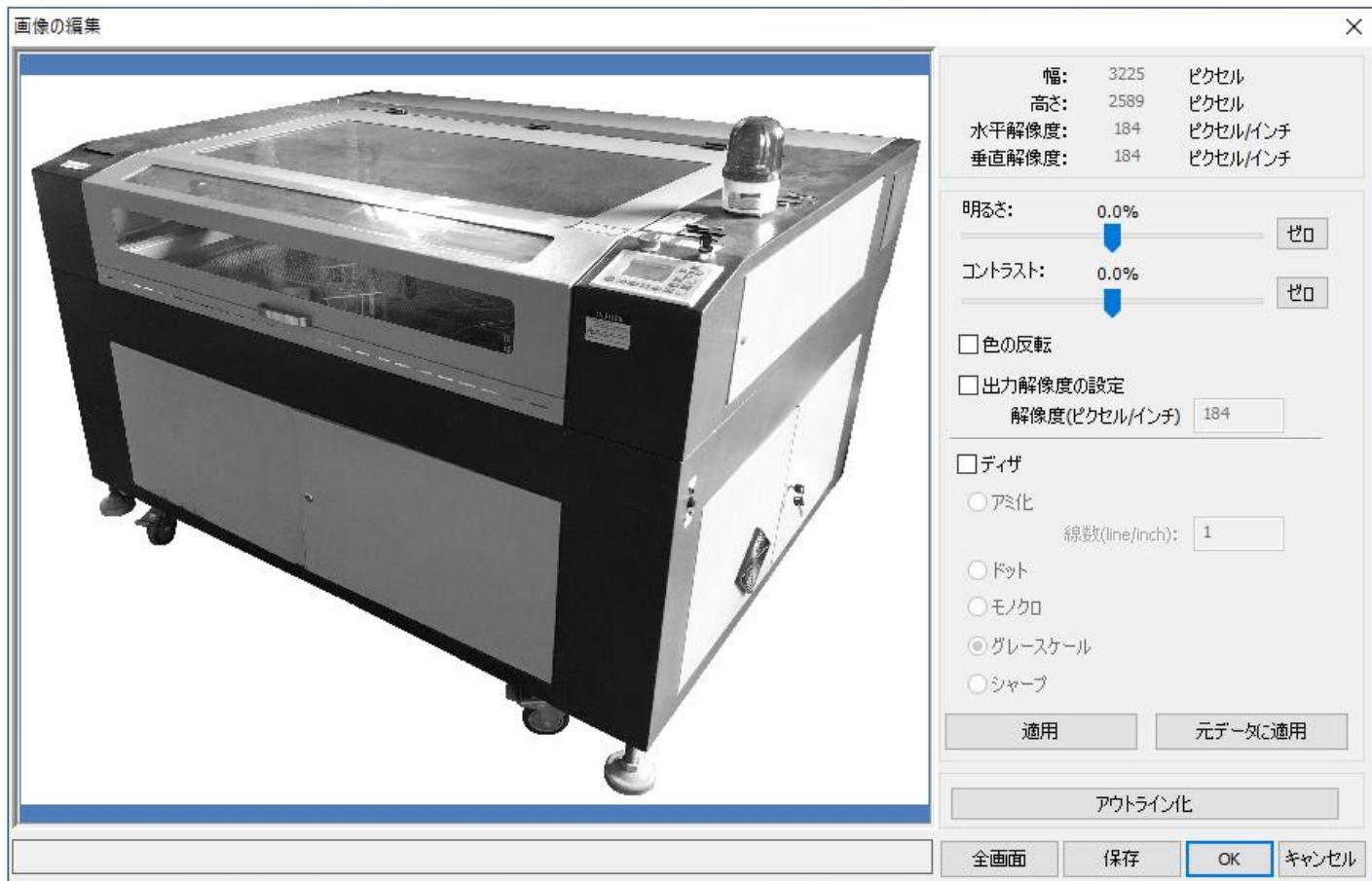


画像データによって、「Not find RDImage install!!」 警告ダイアログが表示されます。



通常は「OK」を選んでください。

「画像編集」ダイアログが表示され。画像データを加工可能な状態に編集できます。



③出力解像度の設定チェックを入れます、「解像度」を1000に設定して、適用ボタンをクリックします。

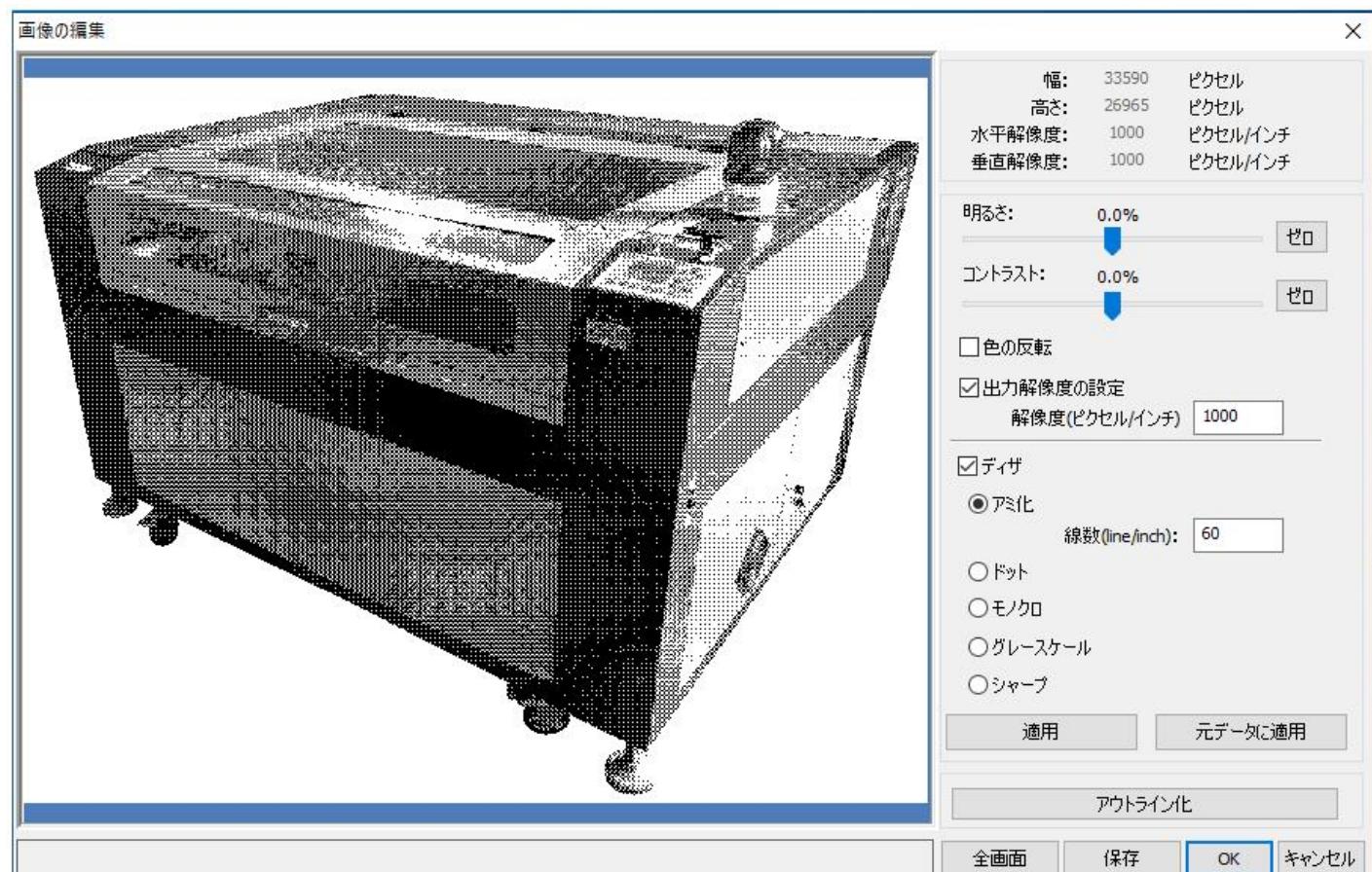


④ ディザをチェックして、画像アミ化します。線数は 50~90 に設定してください。(加工素材や画像内容によって、適切な値を設定してください。設定出しには試行が必要です) 適用ボタンをクリックします。

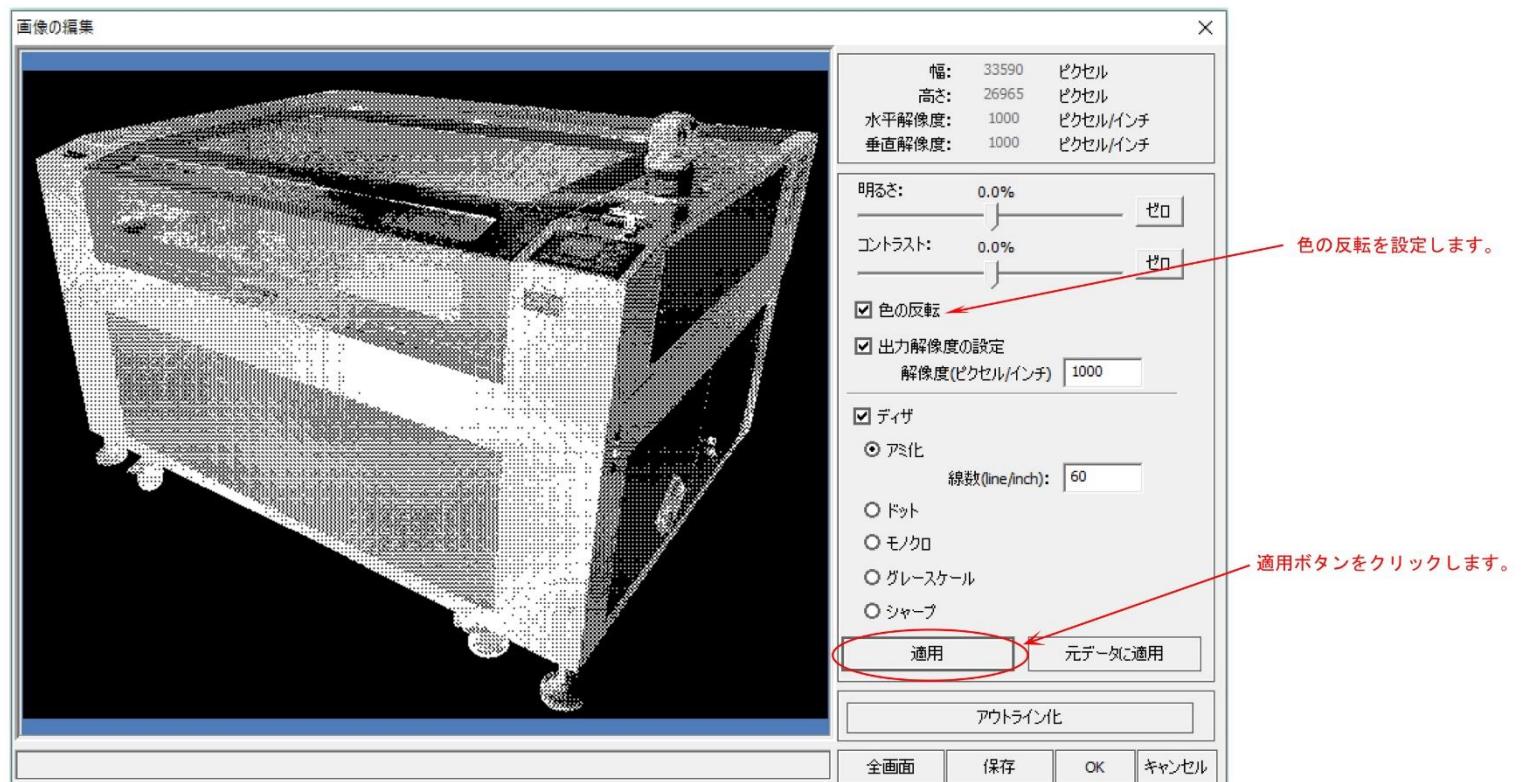


※ 上記設定は目安です。試行して仕上がりを見ながら設定を変える必要があります。

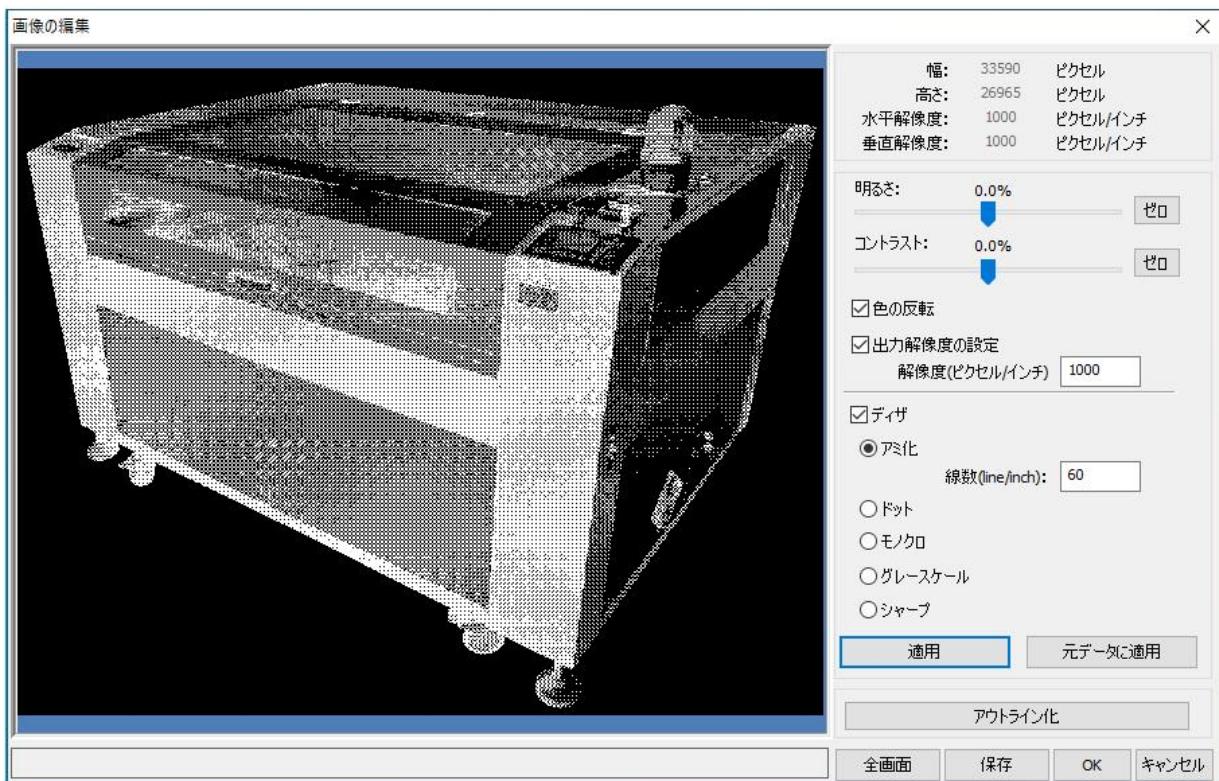
下図のような画像に変換されます。



⑤ 色の反転チェックを入れて、適用ボタンをクリックしてから。OK ボタンをクリックします。

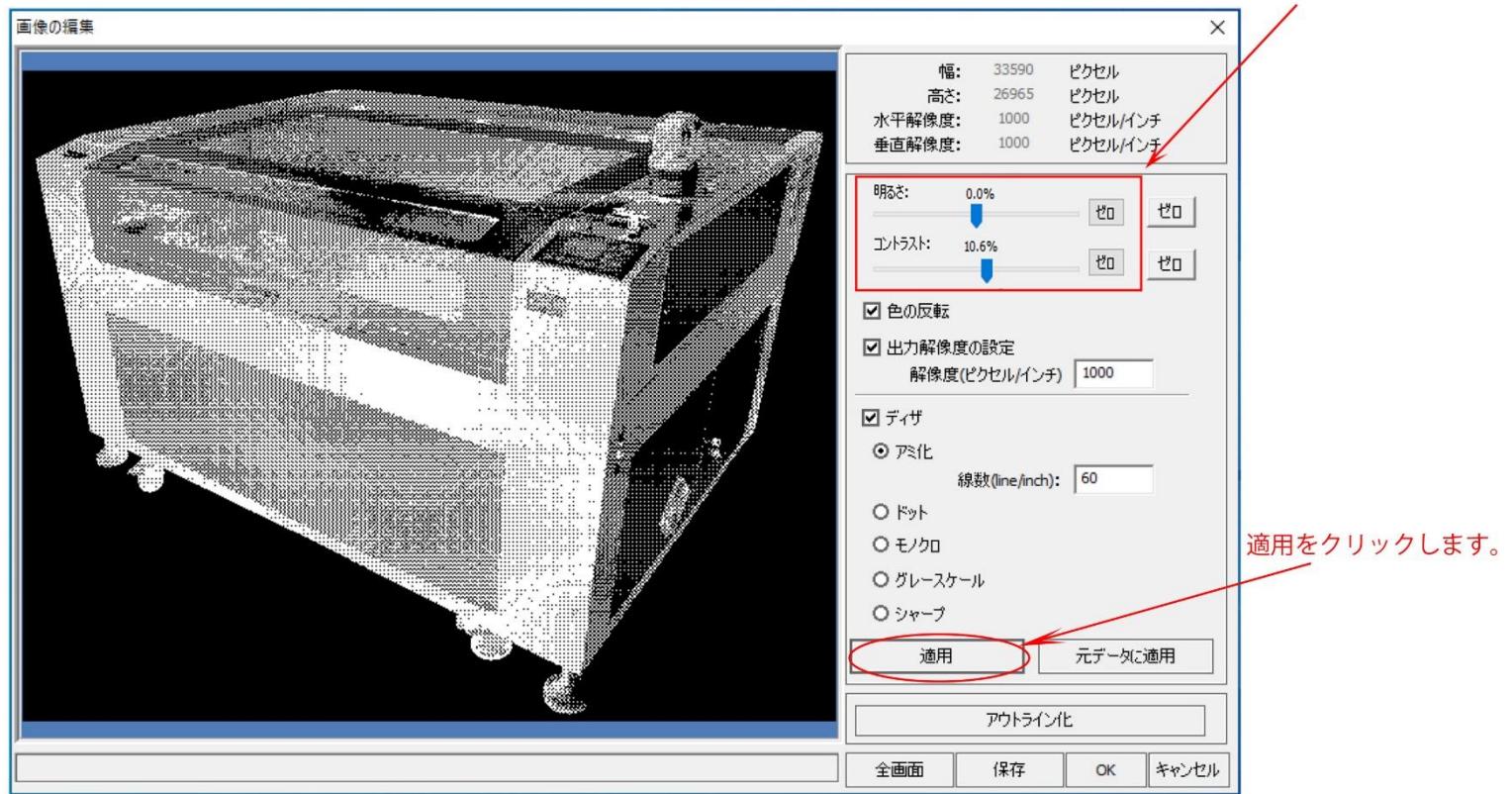


⑥ 白と黒の階調が入れ替わります。レーザー加工機は黒色の部分を彫ります。

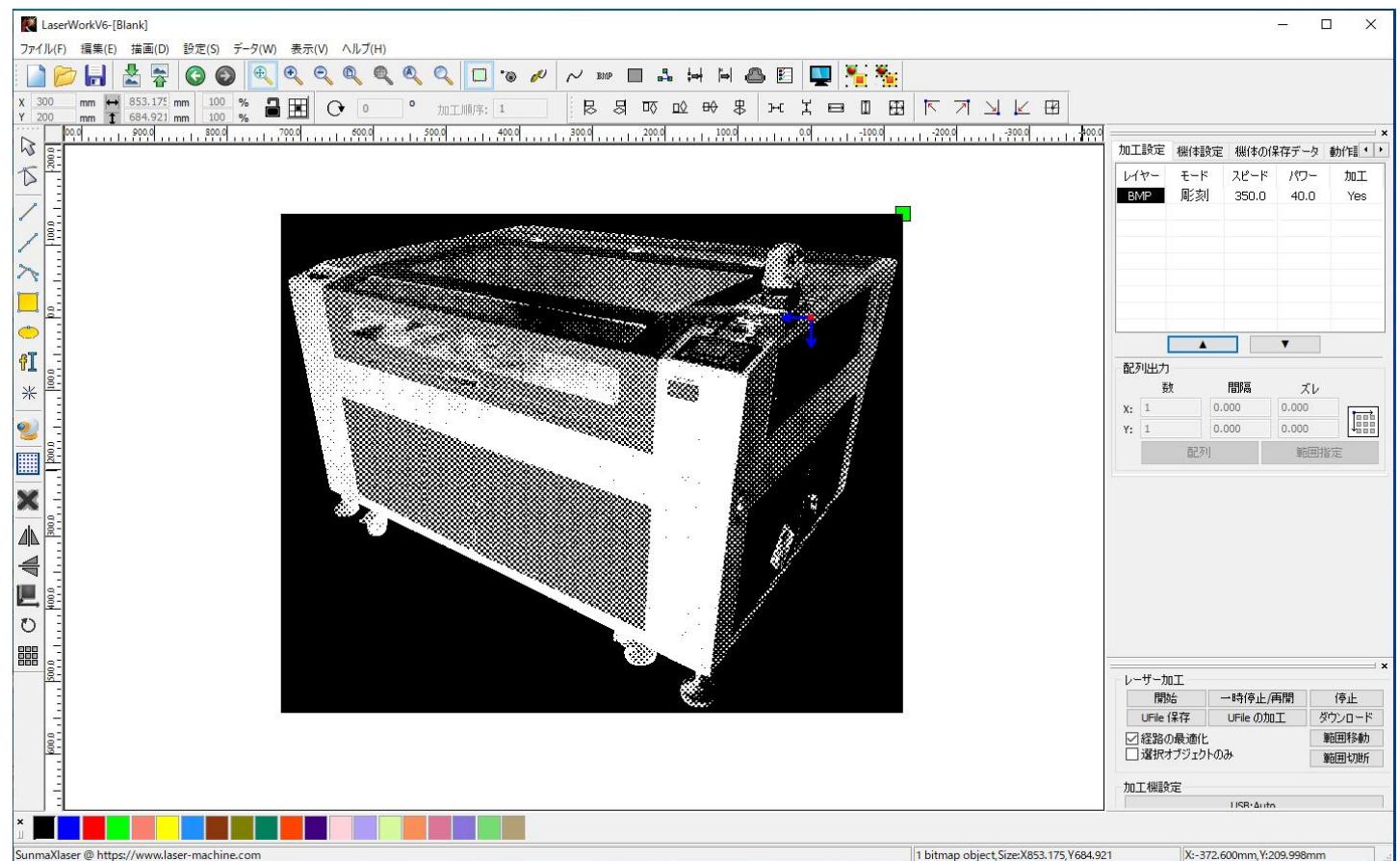


⑦ 画像の内容によっては、明るさやコントラストをうまく調整することにより、画像内容が判別可能な加工ができる場合があります。

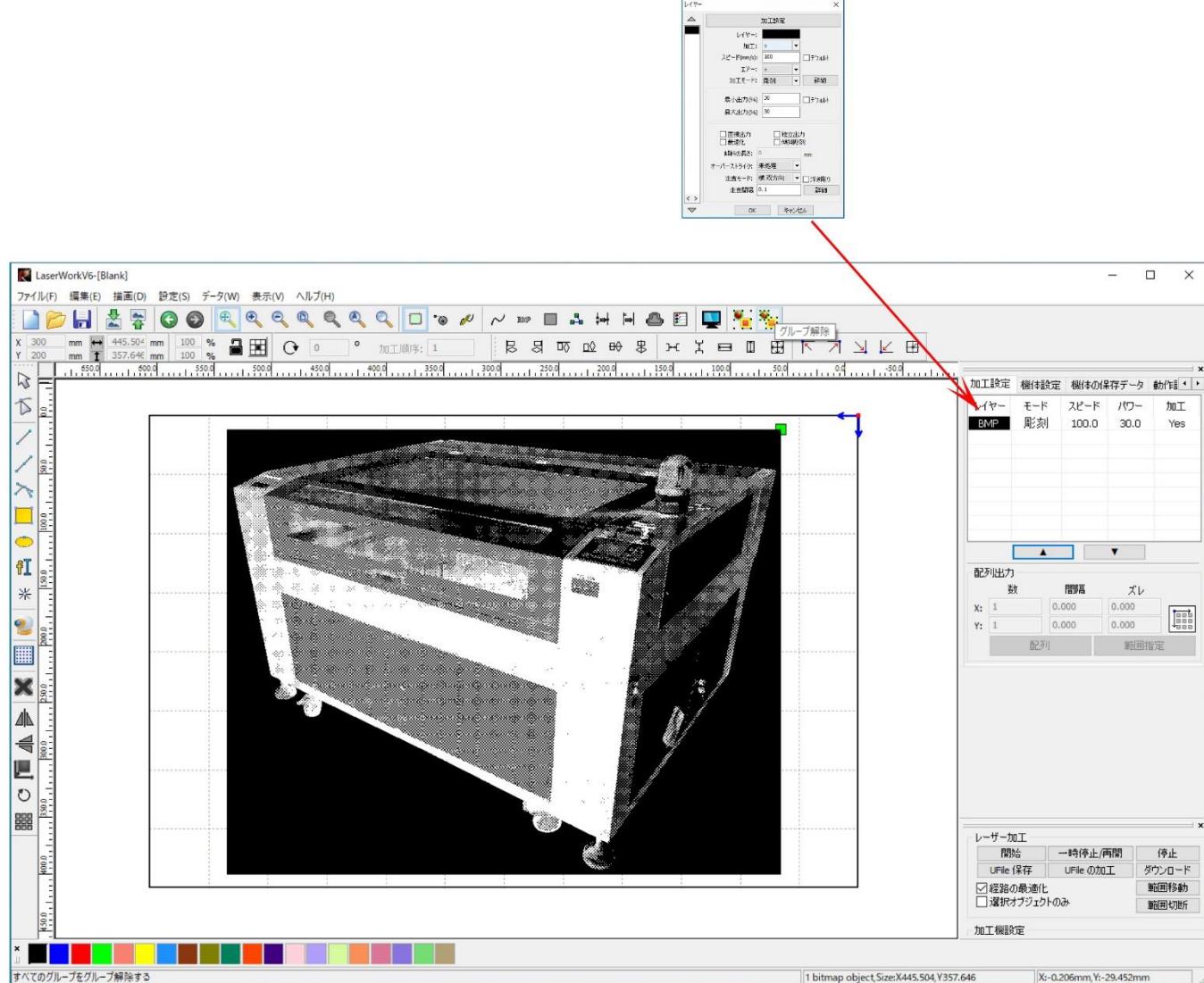
明るさとコントラストを調整します。



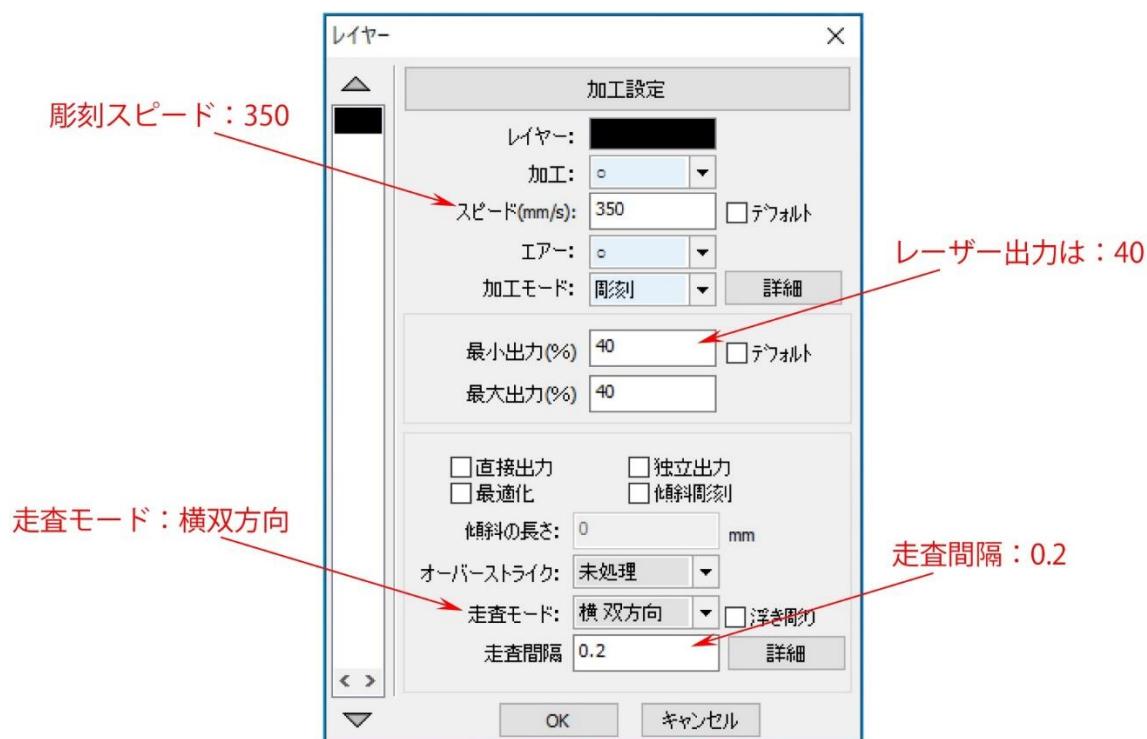
⑧ 画像の編集を終了する場合はOKボタンをクリックします。下図のような画像に変換されます。



⑨ モードを「彫刻」に設定し、レーザー列のカラー帯をマウスでダブルクリックします。



⑩ 彫刻の設定ダイアログが表示されるので、設定してください。



上記設定例は、石に加工する場合の設定例です。

彫刻の設定については、素材、データ、要求加工品質、レーザー加工機機種によって異なりますので、試行して、設定を出してください。

設定後、ダウンロードを行えば、加工できます。